

## News Release

# アクセンチュアと SAS、ビジネス・インテリジェンスでの協業を強化

アクセンチュア株式会社

SAS Institute Japan 株式会社

※2007年3月5日にアクセンチュアならびに米国 SAS Institute Inc.より共同発表されたプレスリリースの抄訳です。

米国ニューヨークおよびノースカロライナ州キャリー発（2007年3月5日）アクセンチュアと SAS は、ビジネス・インテリジェンス(BI)サービスでの協業を強化すると発表しました。

アクセンチュアは SAS 製品のサービス提供能力を強化します。また、SAS はアクセンチュアの持つ業界専門知識を活用しソフトウェアや製品の開発を行います。今回の協業により、アクセンチュアは実績と汎用性のあるソリューションや特化した機能を BI サービスに付加し、現在アクセンチュア・インフォメーション・マネジメント・サービス (AIMS) を通じて提供されている BI サービスへのクライアントからのさらなる要求に応えることができるようになります。一方、SAS はこの協業を通じて、アクセンチュアの販売・マーケティング、トレーニング、研究開発、そして業界別・業務別プロセスの専門知識といった資産を活用し、世界規模で BI ソフトウェアの収益拡大を図ることができます。

AIMS の CEO (統括責任者) ロイス・ベル (Royce Bell) は、「企業がデータを社内外から収集・分析し業績向上を図っているため、今まで以上に BI への要求が高まっています。市場をリードする BI ソフトウェア企業 SAS との協業強化により、顧客にこれまで以上のスキルを、より大きなスケールで提供できるようになります」と述べています。

SAS の CMO (最高マーケティング責任者) ジム・デイビス (Jim Davis) は、「BI ソリューションやサービスは、IT 業界の中で次の成長分野と目されています。SAS は、ソフトウェア、サービス、ビジネス・ノウハウの相乗効果を活用することで、世界規模に広がる BI のビジネス機会を活かすことができます。SAS の提供するエンタープライズ・インテリジェンス・プラットフォームならびに様々な業界特化ソリューションと、アクセンチュアのカスタマイゼーション、サービス実行、そして世界展開の能力を組み合わせることにより、お客様はより迅速かつ効果的に情報管理に関連するビジネスや技術面での悩みに対応することができます」と述べています。

アクセンチュアと SAS は、企業がデータからより多くの知見や価値を見出そうとする情報分析の分野で 10 年以上にわたり協力関係を維持し、BI ソリューションを提供してきました。今回の関係強化を通じて、アクセンチュアと SAS は包括的なアプローチや統合化された IT リソースを手にすることができ、世界中の企業を対象にした業界別ソリューションの開発、製品化、販売、導入を強化する基盤を整えることができます。

大手 IT 専門調査会社の IDC のインテグレーション、開発、アプリケーション・ストラテジー担当グループ・バイスプレジデント ヘンリー・モリス (Henry Morris) 氏は、「両社はともに情報分析の分野で顕著な実績があり、今回の関係強化は好感材料と言えます。SAS の“業界別ソリューションとインテリジェンス・プラットフォームに対する取り組み”と、アクセンチュアが持つ“経営層がメリットを理解できるように業界固有の言語で対話できる能力”や“優秀な人材を配備しソリューションを実現する能力”は補完関係にあります。今回の合意は、双方にとって有益であり、分析サービスの普及を業界、地域を問わず進展させるでしょう」と述べています。

AIMS は、企業の戦略的ビジョンの実現を支援する情報管理のスキルや経験、知見を有する専門家を約 1 万人、擁しています。アクセンチュアの専門家は、機能別、業界別のノウハウやサービス、資産を開発し、高度に組み合わせたソリューションを提供しています。

アクセンチュアは、SAS 製品の中でもエンタープライズ・インテリジェンスやカスタマー・インテリジェンス、フィナンシャル・インテリジェンス、サプライ・チェーン・インテリジェンスなどの業務特化ソリューションの基盤となる SAS エンタープライズ・インテリジェンス・プラットフォーム、また、金融、ライフサイエンス、ヘルスケア、小売、製造など、業界別に特化した様々な技術ソリューションを中心に、BI 製品やサービスの提供を拡大する計画です。

## アクセンチュアについて

アクセンチュアは、経営コンサルティング、テクノロジー・サービス、アウトソーシング・サービスを提供するグローバル企業です。民間企業や官公庁のお客様がより高いビジネス・パフォーマンスを達成できるよう、お客様と協力して革新の実現に取り組んでいます。アクセンチュアは、各業界や業務プロセスに関する高度な専門知識、世界で蓄積された実績や資産をもとに、最適な人材、スキル、そしてテクノロジーを活用し、お客様の経営効率をさらに改善します。世界 49 カ国に約 14 万 6 千人の社員を擁するアクセンチュアは、2006 年 8 月 31 日を期末とする 2006 会計年度の売上が、約 166.5 億 US ドルでした（2001 年 7 月 19 日 NYSE 上場、略号：ACN）。

アクセンチュアの詳細は

[www.accenture.com](http://www.accenture.com) を、

アクセンチュア株式会社の詳細は

[www.accenture.com/jp](http://www.accenture.com/jp) をご覧ください。

## SAS Institute Inc.について

SAS はビジネス・インテリジェンス (BI) ソフトウェア、分析系ソフトウェアとサービスのリーディング・カンパニーです。SAS のソフトウェアは全世界の 42,000 サイトで採用されており、データから企業のパフォーマンスを向上させるインテリジェンスを創出し、より迅速で正確な意思決定、顧客やサプライヤーとの有益な関係構築、コンプライアンス（公的規制）への準拠、研究開発の促進、そして製品やプロセスの品質向上などに利用されています。SAS は、データ統合、インテリジェンス・ストレージ、最先端のアナリティクス、ビジネス・インテリジェンスのアプリケーションを 1 つの統合エンタープライズ・インテリジェンス・プラットフォームで提供する

唯一のベンダーです。1976 年の設立以来、「The Power to Know®（知る力）」を全世界の顧客に提供し続けています。本社：米国ノースカロライナ州キャリー、社員数：Worldwide 約 1 万名、日本法人 約 210 名。

(<http://www.sas.com/>)

\*SAS とその他の製品は米国とその他の国における米国 SAS Institute Inc.の商標または登録商標です。

アクセンチュア株式会社

マーケティング・コミュニケーション部

田中 朝子、中須 藤子

03-5771-9482

[accenture.jp.media@accenture.com](mailto:accenture.jp.media@accenture.com)

アクセンチュア株式会社 広報デスク

株式会社バーソン・マーステラ 駒野 幸宏

03-5771-9484

[Accenture\\_PR@jp.bm.com](mailto:Accenture_PR@jp.bm.com)

SAS Institute Japan 株式会社

広報担当：大野 敦子、山田 和昭

03-3533-3780

[jpnpress@sas.com](mailto:jpnpress@sas.com)

SAS 広報代行／ウェーバー・シャンドウィック・ワールドワイド株式会社

広報担当：高原 香里

03-5427-7356

[ktakahara@webershandwick.com](mailto:ktakahara@webershandwick.com)